



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

- このドアクローザは、室内側に取り付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取り付けてください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 各種取付けねじは、必ず $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで締め付けてください。締め付けがゆるいと落下・故障の原因になります。
- 各種取付けねじは、付属のねじで所定個所に使用してください。所定の個所に使用しないと落下・故障の原因になります。
- ゆるみ防止剤付きのねじは、水に触れたものは使用しないでください。ゆるみ防止効果が無くなり、落下の原因になります。
- 各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。

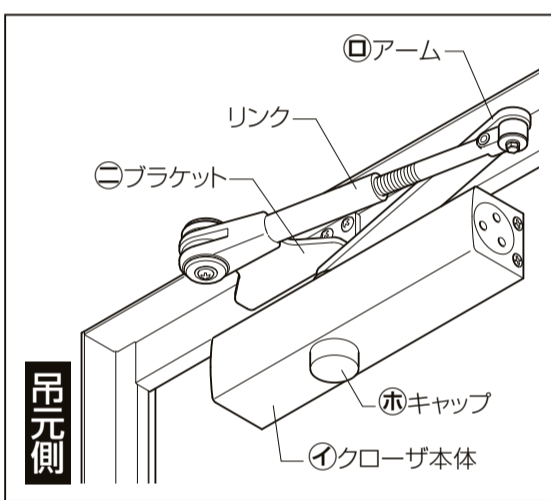
■部品一覧表

記号	㊦	㊧	㊨
姿図			
記号	㊩	㊪	㊫
姿図			
	クローザ本体	アーム	本体ブラケット
	ブラケット	キャップ	アーム止めねじ (ゆるみ防止剤付き) (2本)

■ねじ一覧表

記号	㊬	㊭
姿図		
入数	4	6

■各部名称



■取付け順序

1 本体ブラケットの取付け

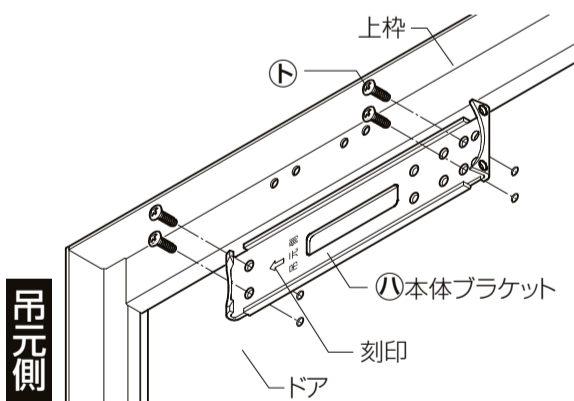
●㊨本体ブラケットの刻印(◁)を吊元側に向け、㊬丸皿小ねじM5×12でドアに取付けます。

■本体ブラケット止めねじ

ゆるみ防止剤



㊬丸皿小ねじM5×12
(ゆるみ防止剤付き)



2 ブラケットの取付け

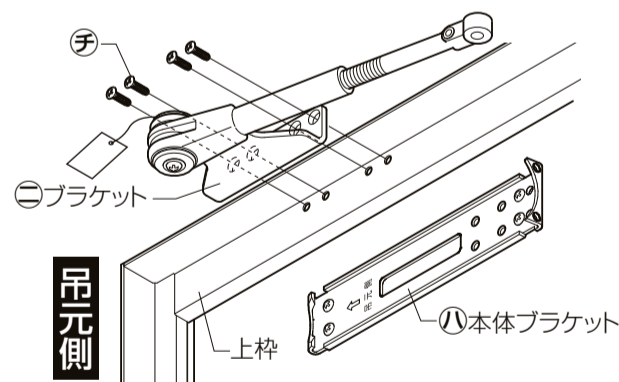
●㊩ブラケットを上枠に、㊭丸皿小ねじM5×12でしっかりと取付けます。

■ブラケット止めねじ

ゆるみ防止剤



㊭丸皿小ねじM5×12
(ゆるみ防止剤付き)



▲注意

●本体ブラケット止めねじは必ず $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで締め付けてください。本体ブラケット止めねじの締め付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

▲注意

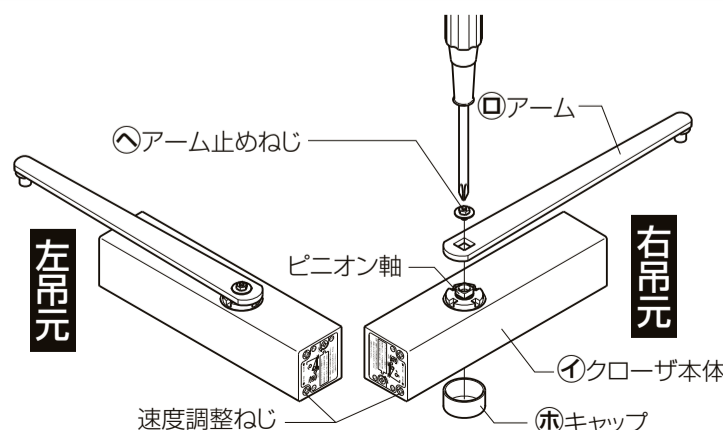
●ブラケット止めねじは必ず $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ }のトルクで締め付けてください。ブラケット止めねじの締め付けがゆるいと、ブラケットリンクがぐらつき落下・故障の原因になります。

3 アームの取付け

- ①㊦クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②ピニオン軸に㊧アームを右図の向きではめ、㊮アーム止めねじを、しっかりと締め付けます。
- ③㊪キャップを下から取付けます。

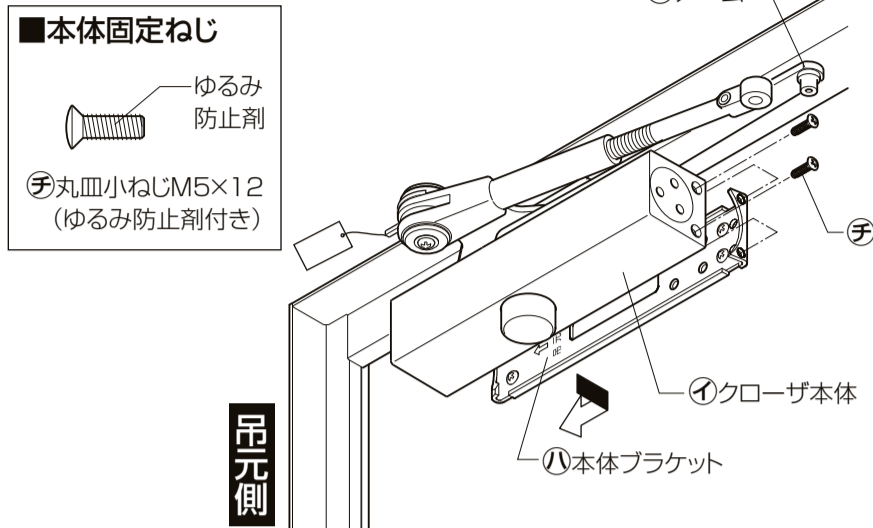
お願い

- ※アームはめ込み時、ハンマーなどでたたかないでください。たたくと破損や油もれの原因になります。
- ※取付けねじの締め付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。



4 クローザ本体の取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向けます。
- ②クローザ本体を下図のようにスライドさせて、①本体ブラケットにはめ合わせます。
- ③戸先側から、しっかりと固定します。

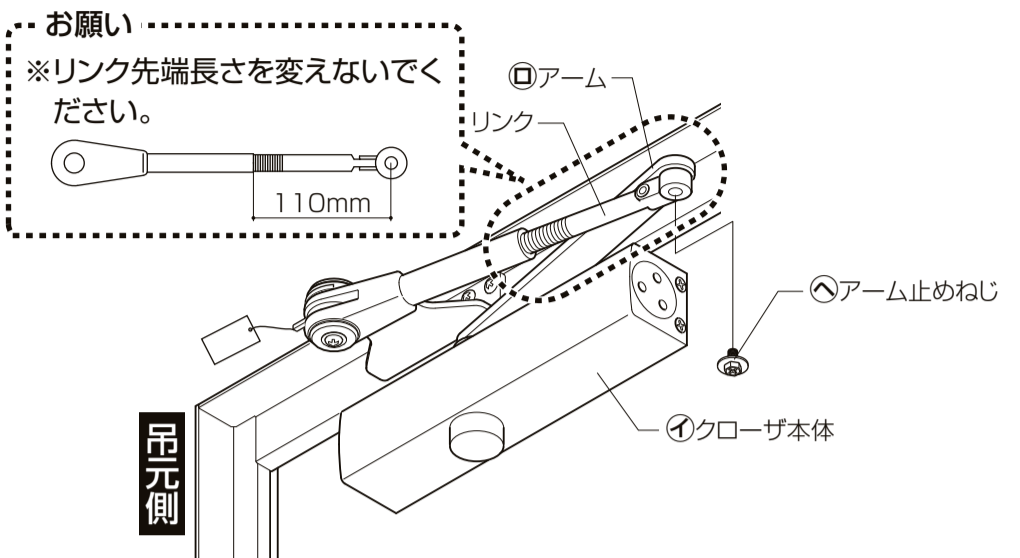


▲ 注意

- 本体固定ねじは必ず $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで締付けてください。本体固定ねじの締付けがゆるいと、本体がぐらつき落下・故障の原因になります。

5 アームの連結

- リンク先端の穴に②アーム先端のピンを差し込み、③アーム止めねじを、しっかりと締め付けます。



▲ 注意

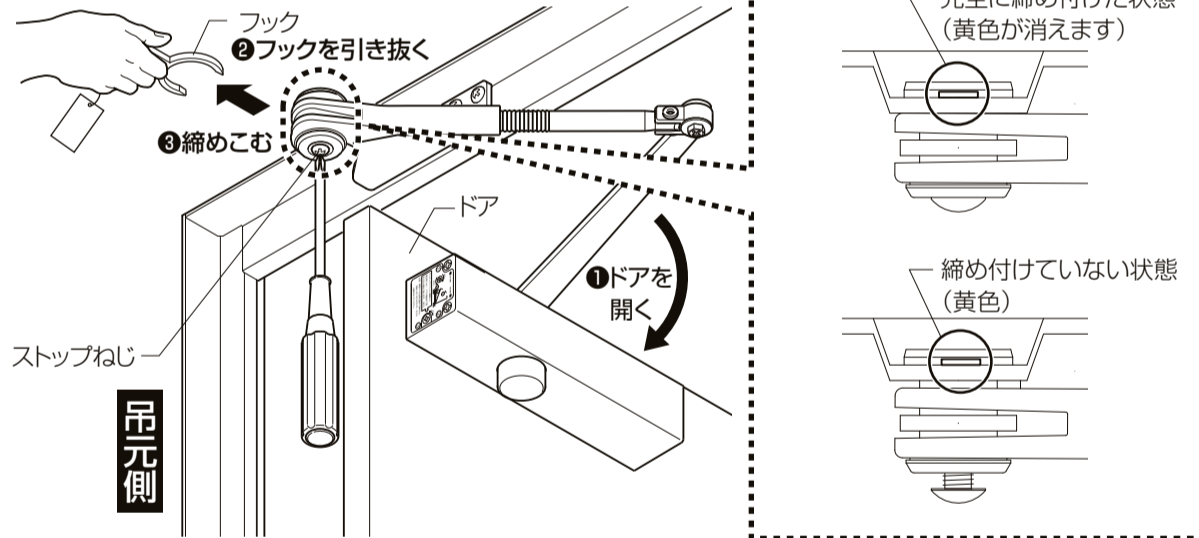
- アーム止めねじは必ず $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで締付けてください。アーム止めねじの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

■ ストップ装置の設定

1 ストップ角度の設定

- ①ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
 - ②フックを引き抜いてください。
 - ③開いた位置でストップねじをドライバーで締めこんでください。その際、識別マーク(黄色い部分)が見えなくなるまで締め込んでください。完全に締めきらない場合はドアを前後にゆすりながら締め込んでください。
- ※ 識別マーク(黄色)が見える場合は、ストップねじの締付けが不十分です。

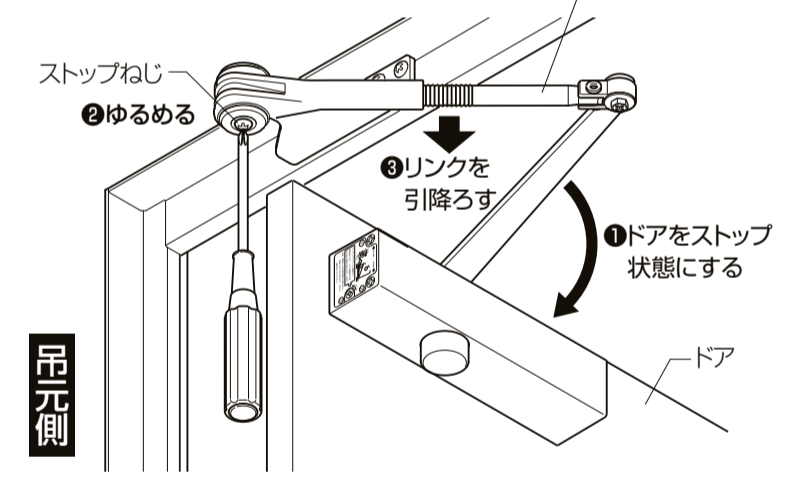
<ストップ角度の設定>



2 ストップ角度を変更(再設定)する場合

- ①ドアを開きストップ状態にしてください。
- ②ストップねじが回らなくなるまでドライバーでねじをゆるめてください。
- ③ドアを開く方向に押しながら、リンクの↓部をいっぱい引降ろすとストップ機構が解除され設定前の状態に戻ります。
- ④再度 1 ストップ角度の設定 手順①～③にしたがってストップ角度の設定を行ってください。

<ストップ角度を変更する場合>



■ ドア(扉)閉じ速度の調整

1 閉じ速度の調整

- ①閉じ速度は、第1速度区間および第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
- ②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5～8秒位です。

お願い

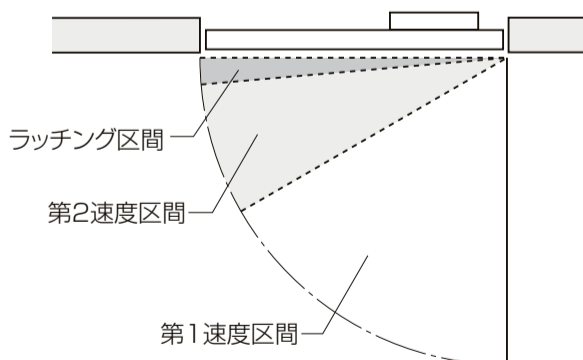
- ※ 調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
- ※ 調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こし、正常に機能しなくなる可能性があります。

2 ラッチングアクションの調整

- ※ ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前(約3°)まで来た時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くとドアが閉まりきらない場合などに使用します。
- 調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。

▲ 注意

- 各速度調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。ねじをゆるめすぎるとドアが急激に閉まり、思わぬ事故を起こす危険があります。



■ 速度調整ねじ

